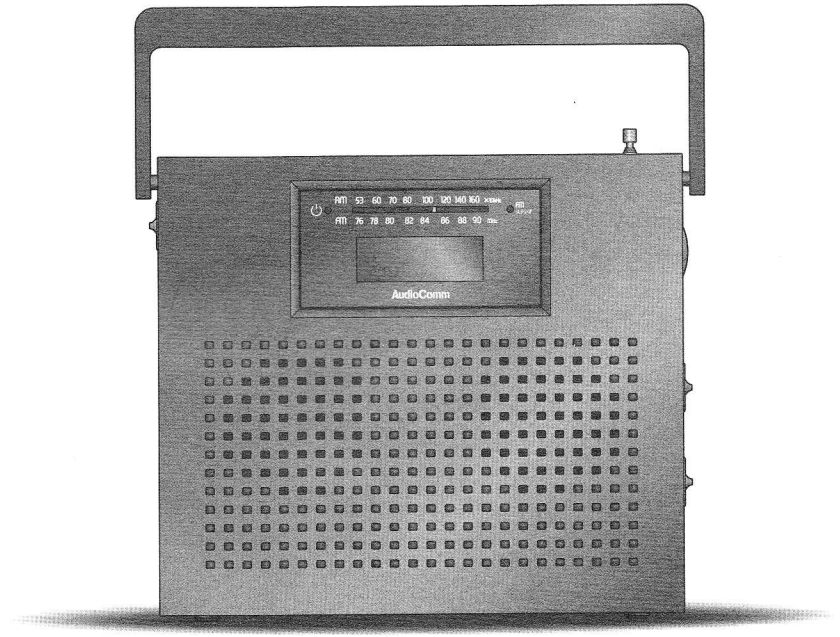
AudioComm®

取扱説明書
保証書付

ステレオCDラジオ
型番：RCD-R30N-W／K／P　品番：07-7930／7931／7932



このたびは、AudioComm® ステレオCDラジオをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

⚠ 警 告　**電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。"**なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意 …… 1
ご使用になる前に …… 4
電源について …… 5
各部の名称 …… 6
ラジオ放送を聴く …… 7
CDを聴く …… 8
ヘッドホンで聴く …… 11
外部機器に接続する …… 12
故障かなと思ったら …… 13
主な仕様 …… 13
お手入れ方法 …… 14
保証書とアフターサービスについて …… 14
保証書

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
（左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

●本体を修理、改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

●万一、内部に水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源ACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

●ACアダプターコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止し、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。 火災や感電の危険があります。

●雷が鳴り始めたら、安全のためACアダプターを抜いてください。

●万一、機器の内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災感電の原因となります。

●ACアダプターコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。

●ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠ 注意

●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●ACアダプターコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●ACアダプターを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

⚠ 注意(前ページから続く)

禁止	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 コンセントから抜く時は必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	アンテナに注意	●移動させる場合は、アンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったりして折れたり、けがの原因になることがあります。
乾電池の電極性に注意	●乾電池を挿入する場合、極性表示（プラス+とマイナス−の向き）に注意し、表示通り正しく入れてください。 間違えますと乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	指を挟まれないように注意	●お子様がCD扉の中に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
禁止	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、アルカリとマンガンなど種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	音量に注意	●電源を入れる前には、音量ボリュームを最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。 ●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
禁止	●電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニター等）に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。		
コンセントから抜く	●お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く	●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない	⚠ 注意	・＋−の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

●使用済みの乾電池を廃棄する時、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

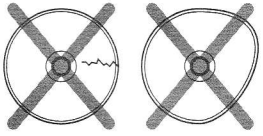
CDについて

●本機は通常の音楽CDのほか、CD-R、CD-RWディスクの再生に対応しています。

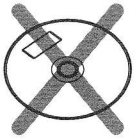
●ディスクに右のマークが入ったものをご使用ください。

CD取扱上のご注意

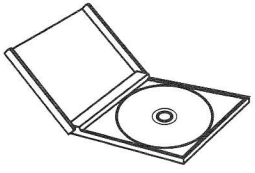
●ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

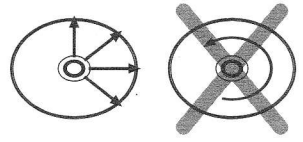


●長い時間使用しない時は、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

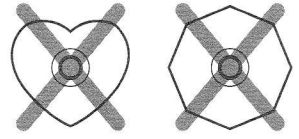


●再生面を触れないように持ってください。

●信号面（虹色に光っている面）を傷つけたり、指紋等が付かないように持ってください。指紋や汚れが付いた時は、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。



●ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このような時はディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ご注意

●CD-R/RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類、状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。
●ファイナライズ処理のなされていないディスクは再生できません。
●本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
●DualDisc（デュアルディスク）については、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、動作・音質を保証できません。
●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたりましては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD

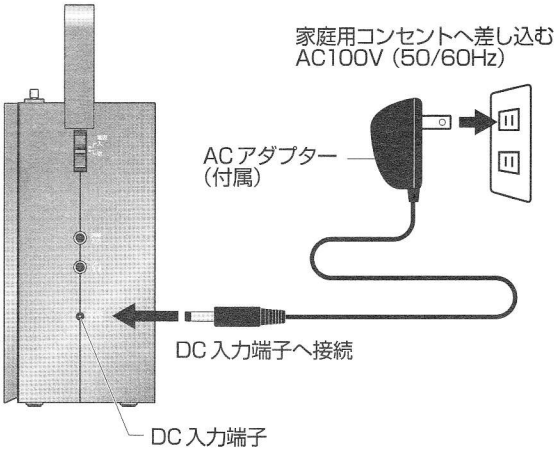
電源について

⚠ ACアダプターコードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れする時は、電源スイッチを切にして、電源が切れた状態で行ってください。

⚠ 電源を切る前には音量(ボリューム)を最小にしてください。次に電源を入れて操作した時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用コンセントで使うには

付属のACアダプターを本機左側面にあるDC入力端子へ接続した後、家庭用コンセントへ差し込んでください。
※乾電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
※本機を使用しない時は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

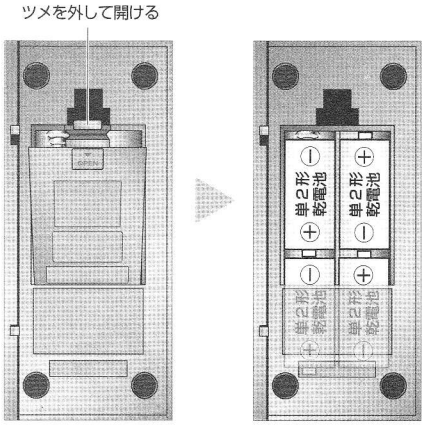


ご注意

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池(別売)で使うには

1. 本機底面の電池カバーを、ツメを外して開けてください。
2. 単２形乾電池(別売)を４本、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます(下図参照)。
3. 電池を入れ終えたら、電池カバーを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。



単２形乾電池 ×4本 (別売)

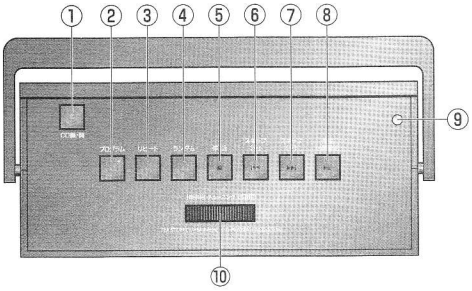
※乾電池で使う時は、ACアダプターが本機左側面のDC入力端子から抜かれていることをお確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。
※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

アルカリ乾電池をぜひご使用ください

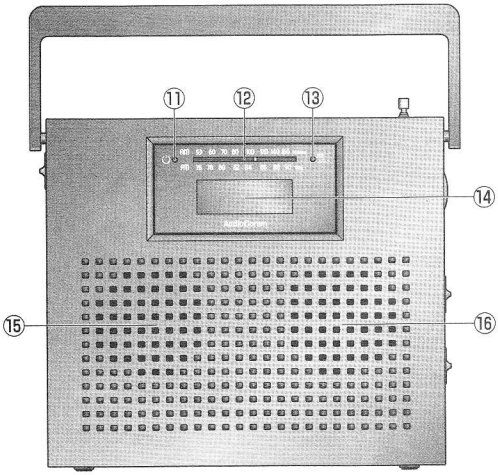
マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります

各部の名称

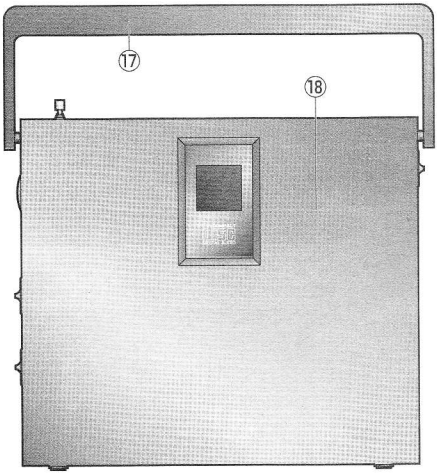
上面



正面

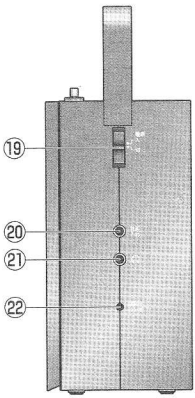


裏面

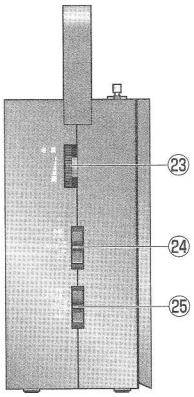


①CD扉開ボタン
②プログラムボタン
③リピートボタン
④ランダムボタン
⑤停止ボタン
⑥スキップ（−）ボタン
⑦スキップ（+）ボタン
⑧再生／一時停止ボタン
⑨FMアンテナ
⑩選局ツマミ
⑪電源ランプ
⑫選局目盛り
⑬FMステレオランプ
⑭ディスプレイ
⑮左スピーカー
⑯右スピーカー
⑰キャリーハンドル
⑱CD扉
⑲電源スイッチ
⑳外部入力端子
㉑ヘッドホン端子
㉒DC入力端子
㉓音量ツマミ
㉔ファンクション切換スイッチ
㉕バンド切換スイッチ
㉖電池カバー

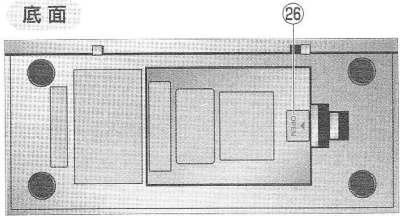
左側面



右側面



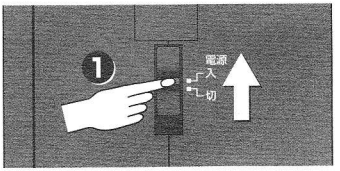
底面



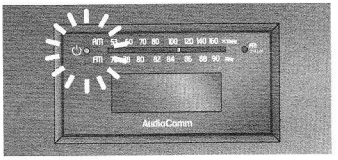
ラジオ放送を聴く

1. 電源スイッチを入にします。
※電源が入ると電源ランプが点灯します。
2. ファンクション切換スイッチをラジオに合わせます。
3. バンド切換スイッチをAM、FM、FMステレオのいずれかに合わせます。
4. 選局ツマミを回して、お聴きになりたい放送局を選びます。
5. 音量ツマミを回して、音量を調節します。
6. ラジオを切るときは、電源スイッチを切にします。
※電源が切れると電源ランプも消灯します。
※ファンクション切換スイッチをCDや外部入力に合わせても電源は切れません。

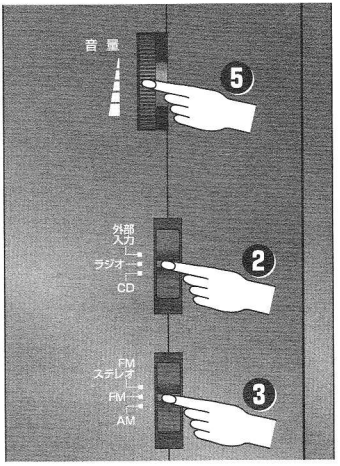
左側面



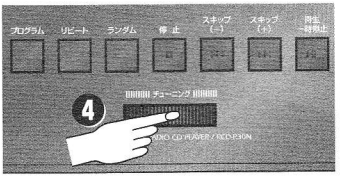
正面



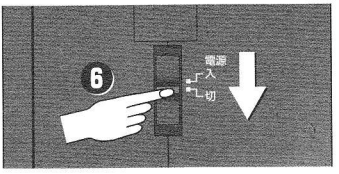
右側面



上面



左側面



ヒント

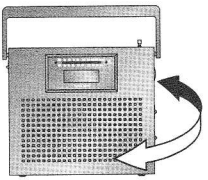
- ●FMステレオ放送を楽しむときは、バンド切換スイッチをFMステレオに合わせてください。FMステレオ放送受信時にはステレオ音声を楽しめます（FMステレオランプが点灯します）。
- ●FMステレオ受信時に雑音などが入り受信状態が良くないときは、バンド切換スイッチをFM（モノラル受信）にしてください。雑音が緩和されることがあります。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

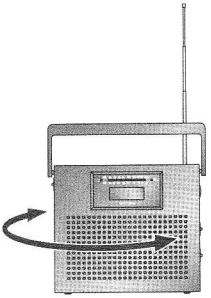
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

※テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機を離してご使用ください。



●FM放送の受信

FMアンテナを伸ばし、本機の向きや場所を変えて受信状態が最も良くなるように調節します。



ご注意

- ・持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。
- ・近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。
- ・アンテナはキャリーハンドルを立てた状態で伸ばしてください。キャリーハンドルを倒した状態で伸ばすと、移動時に双方が接触し、破損や故障の原因となります。

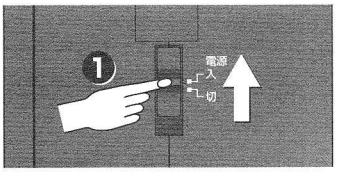
CDを聴く

1. 電源スイッチを入にします。
※電源が入ると電源ランプが点灯します。
2. ファンクション切換スイッチをCDに合わせます。
3. CD扉開ボタンを押して背面のCD扉を開け、レーベル面を手前側にしてディスクをしっかりと装着します。装着し終えたら、CD扉の右上部を指で押して扉を閉めます。
4. CD扉を閉めると自動的にディスクが回転し、収録されている曲数がディスプレイに表示されます。曲目を選択する場合は、スキップボタン（＋／－）選択します。選択しない場合は１曲目からの再生になります。
5. 再生／一時停止ボタンを押すと再生が始まります。
6. 音量ツマミを回して、音量を調節します。
7. 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。
8. 再生を止める時は、停止ボタンを押します。
9. 電源を切るときは、電源スイッチを切にします。
※電源が切れると電源ランプも消灯します。
※再生を終える時は必ず停止ボタンを押してください。

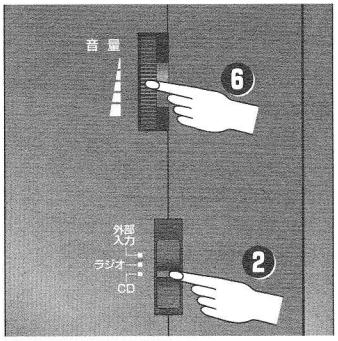
ご注意

・CDを取り出す際は、CD扉の窓からディスクの回転が止まったことを確認してください。回転中に扉を開けるとCD面が傷ついたり、けがの原因になります。

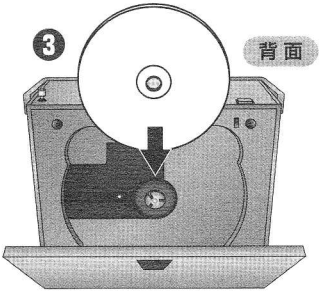
左側面

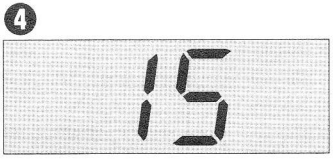


右側面



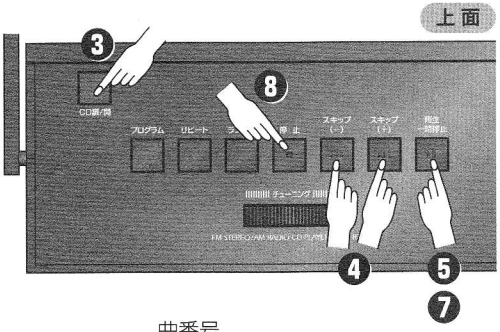
レーベル面を手前にして
しっかり装着してください

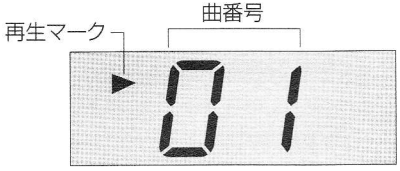




読み込みが終わるとディスプレイに
収録されている曲数を表示します。

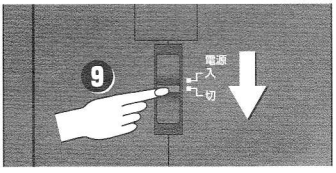
上面





再生中のディスプレイ表示例。一時
停止中は再生マークが点滅します。

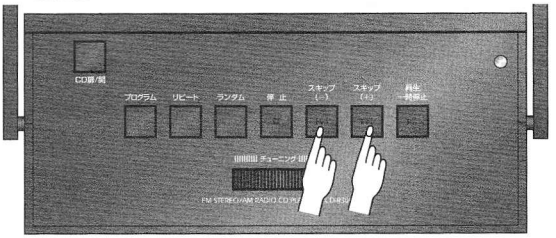
左側面



CDを聴く（つづき）

スキップ再生／サーチ再生

上面



●スキップ再生

・再生中にスキップ（+）ボタンを押すごとに、次の曲に進んで曲の最初から再生します。
・再生中にスキップ（−）ボタンを押すとその曲の最初に戻って再生します。2回続けて押すと前の曲の最初から再生します（押すごとに前の曲に戻って再生します）。

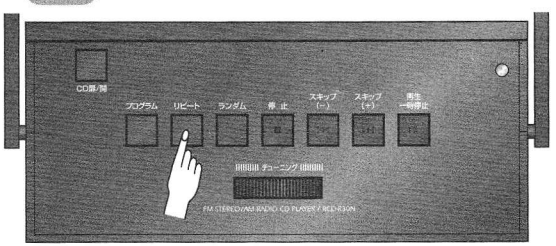
●サーチ再生

・再生中にスキップ（+）ボタンを押し続けると早送りになります。
・再生中にスキップ（−）ボタンを押し続けると早戻しになります。

※小さな再生音が聴こえるので、その音を参考にしながら希望のところで指を離すと、そこから再生します。

リピート(繰り返し)再生

上面



●1曲リピート再生

・再生中にリピートボタンを1回押すと、聴いている曲を繰り返し再生します（ディスプレイに「RPT 1」と表示されます）。
・再生前にリピートボタンを押した場合は、スキップ（+／−）ボタンで曲を選んでから再生／一時停止ボタンを押すと、その曲を繰り返し再生します。

●全曲リピート再生

・再生中、または再生前にリピートボタンを2回押すと、全曲リピートモードになり、ディスク内の全曲が繰り返し再生されます（ディスプレイに「RPT ALL」と表示されます）。

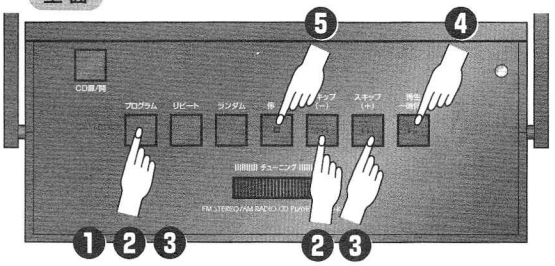
ヒント　リピート再生を解除するには、ディスプレイの「RPT」表示が消えるまで、リピートボタンを1回または2回押します。

CDを聴く

プログラム再生

ご注意 プログラム登録は再生停止中に行ってください。

上面



▼

曲番号を選び、プログラムボタンを押すと曲番号が確定し、2曲目を選べるようになります。

▼

以下同様にプログラム登録操作を繰り返してください。

1. 再生前にプログラムボタンを押します。ディスプレイに「01」とプログラムマークが点滅します。
   ※この時点滅した「01」は、1番目の登録（登録順）を意味します。
2. スキップ（+／−）ボタンを押して登録したい曲番号を選び、再度プログラムボタンを押して確定します。
   ※ディスプレイに「02」が点滅し2番目に登録したい曲を選択できるようになります。
3. ステップ2の操作を繰り返して、お好みのプログラムを登録します（**最大20曲まで登録できます**）。
4. 再生／一時停止ボタンを押すと、登録した順番で再生が始まります。プログラム再生中はプログラムマークが点灯します。
5. 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。
   ※停止ボタンを1回押した場合、再生は停止しますが、登録したプログラムは残っています（プログラムマークも点灯）。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、プラグラムの最初から再生します。
   ※停止ボタンを2回押すと、再生が停止し、プログラムも解除されます（プログラムマーク消灯）。

ヒント

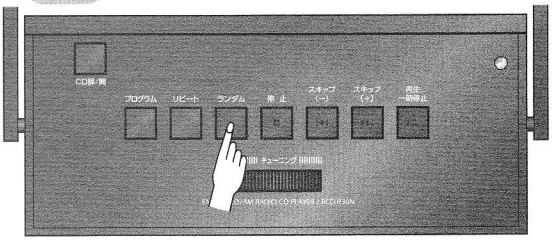
- ●以下のいずれかの操作をするとプログラムが解除されます。
  ・CD扉を開ける　・ファンクション切換スイッチをラジオまたは外部入力にする　・電源スイッチを切る
- ●プログラム再生とリピート再生を併用すると、プログラムした曲順で繰り返し再生することができます。プログラム再生中にリピートボタンを1回押すと、その曲を繰り返し再生し（ディスプレイに「RPT 1」表示）、もう一度押すと、プログラムした全曲をリピート再生します（ディスプレイに「RPT ALL」表示）。リピートを解除するには、ディスプレイの「RPT」表示が消えるまで、リピートボタンを1回または2回押します。
- ●プログラムを修正するには、再生前にプログラムボタンを押して変更したい曲順番号を選び、次にスキップ（+／−）ボタンを使って曲番号を変更し、最後にプログラムボタンを押して確定します。

CDを聴く（つづき）

ランダム再生

ご注意 プログラム再生中はこの機能は使えません。

上面



ランダムマーク

再生中または停止中にランダムボタンを押すと、ランダム再生になります。
※ディスプレイにランダムマークが表示されます。

●再生中に押した場合
再生中の曲をスキップし、次の曲からランダムに選んで再生します。

●停止中に押した場合
再生／一時停止ボタンを押さなくても、そのままランダム再生をスタートします。

※停止ボタンを押すと、再生が停止し、ランダム再生が解除されます（ランダムマーク消灯）。
※ランダム再生中にもう一度ランダムボタンを押すと、ランダム再生が解除され、通常の再生に戻ります。

ヒント

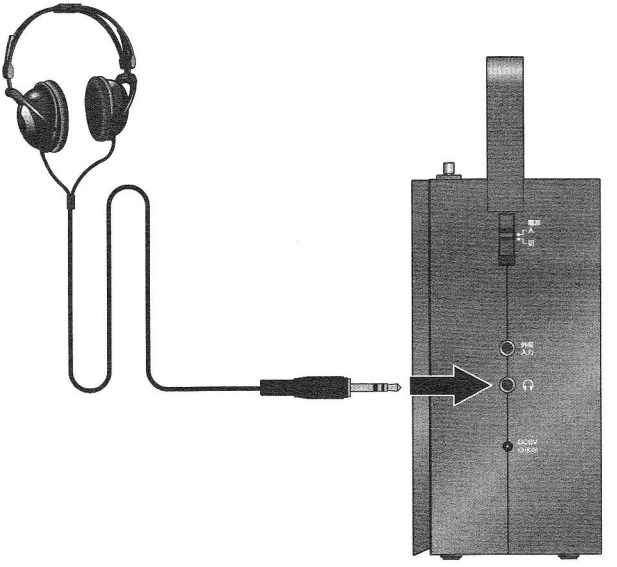
●ランダム再生中にリピートボタンを1回押すと、再生中の曲を繰り返し再生します。
●ランダム再生中にリピートボタンを2回押すと、ディスク内の全曲を順不同で繰り返し再生します。

ヘッドホンで聴く

別売のヘッドホン（φ3.5mm ステレオミニプラグ）を、本機左側面にあるヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ご注意

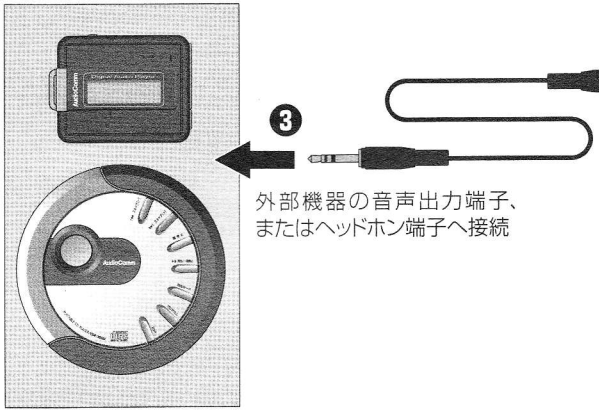
ヘッドホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でヘッドホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼす恐れがあります。



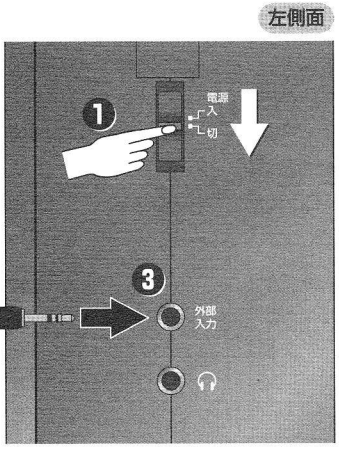
外部機器に接続する

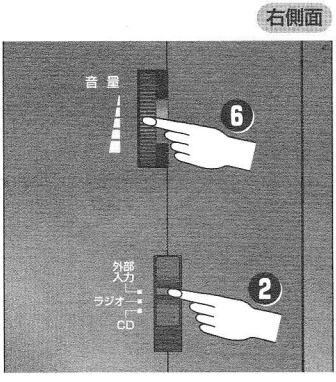
外部入力端子を使って、外部機器と接続することができます。別売のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って接続した、ポータブルCDプレーヤーやMD、デジタルオーディオプレーヤー等の音楽・音声を楽しめます。

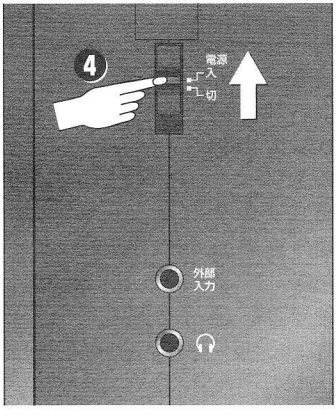
1. 本機および外部機器の電源が入っている場合は電源を切ります。
2. 本機のファンクション切換スイッチを外部入力に合わせます。
3. φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使って、外部機器の音声出力端子またはヘッドホン端子と、本気の外部入力端子を接続します。



4. 本機と外部機器の電源を入れます。
5. 接続したプレーヤーを再生します
6. 本機および接続したプレーヤーの音量ツマミで音量を調節します。再生・停止等の操作はプレーヤー側で行ってください。
7. 再生を止め、接続を解除するときは、必ず双方の機器の電源を切ってから行ってください。







故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
●全　般	
・電源が入らない	□AC アダプターがしっかりとコンセントに差し込まれていますか。
	□乾電池が消耗していませんか。乾電池の向きは正しいですか（乾電池利用時）。
・音が出ない	□音量が最小になっていませんか。
	□ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
●CD 部	
・CD の再生が始まらない	□CD が裏返しに入っていませんか。
	□CD がひどく汚れていませんか。
	□規格外のディスクが入っていませんか。
	□レンズが汚れていませんか。
	□CD 扉はしっかりと閉まっていますか。
	□ファンクション切換スイッチは CD が選ばれていますか。
・CD の音が出ない	□一時停止状態になっていませんか。
	□外部入力端子にφ3.5mm ステレオミニプラグが接続されていませんか。
・CD の音がとぶ	□結露状態になっていませんか。
	□レンズがひどく汚れていませんか。
	□強い振動を与えていませんか。
	□CD に大きな傷やひどい汚れがありませんか。
●ラジオ部	
・ラジオに雑音が入る	□近くで携帯電話を使用していませんか。
	□テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信していませんか。
	□外部入力端子にφ3.5mm ステレオミニプラグが接続されていませんか。
●その他	
・ラジオは聴けるが CD が動かない	□乾電池の消耗がかなり進んでいます。新しい乾電池と交換してみてください（乾電池使用時）。

主な仕様

■電　　源：AC100V（50 ／ 60Hz）　DC6V（単 2 形乾電池 ×4 本／別売）
■消 費 電 力：5W
■最 大 出 力：500mW + 500mW (r.m.s)
■受信周波数：FM　76.0〜90.0MHz　　AM　530〜1605kHz
■ア ン テ ナ：FM　ロッドアンテナ　　AM　フェライトバーアンテナ（内蔵）
■外 形 寸 法：幅 188mm x 高さ 155mm x 奥行 100mm　（ハンドルをたたんだ状態）
■質　　量：約 700g（乾電池含まず）
■付　属　品：AC アダプター、取扱説明書（保証書）
■乾電池使用時の連続動作可能時間の目安：CD：約 20 時間　　ラジオ：約 50 時間
（アルカリ乾電池新品使用、音量中程度にて）

※仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

お手入れ方法

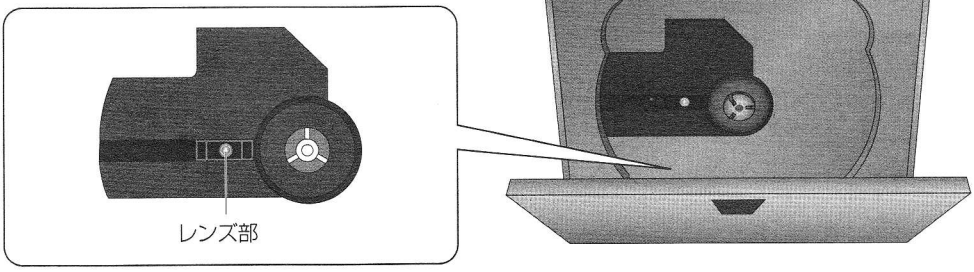
本体のクリーニング

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、
アルコールなどは
使用しない

CD プレーヤー・レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音とびなど、再生ができなくなる原因となります。CD 扉を開け、レンズについたほこりやゴミを市販のブロワーでクリーニングしてください。
※レンズ部分に布や綿棒などを当てたり、こすらないでください。故障の原因となります。



保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。